

区議会議員
佐々木浩
の区政調査レポート

平成18年 秋号



杉並の論点



発行：佐々木浩 167-0032 東京都杉並区天沼3-9-12 03-5397-7088

“行革の杉並” がさらに踏み込む 『究極の行革』 行政サービス民間事業化提案制度（仮称）がスタート！

区では既に策定済みの「スマートすぎなみ計画」のなかで、区の事業の民間委託（企業やNPO、ボランティア団体など）を平成20年までに50%、平成22年までに60%の目標を立てています。このたび制度導入にむけた中間報告が発表されました。

杉並の事業化提案制度は、国の市場化テストとはレベルが違います

国の市場化テストは役所が一方向的に決めた数事業が対象の役所主導型です。それに対し杉並は逆の発想で、区のすべての仕事のうち民間でやれそうなものは自由に提案して下さいという制度です。とはいっても普通、役所とは何をやってるのかわかりませんので、その目安として区の仕事を869に分類し事業詳細を公開しますので特に参考にして下さい。

またあくまでも参考でありこれにこだわる必要すらありません。どんどん提案して下さい。また企業はともかくNPOは経営基盤が脆弱でまたこれから立ち上げようという方も多いと思います。それに対して区役所が一定のバックアップを致します。

今後の進め方

今年10月下旬にモデル実施。いくつかしぼって事業提案募集をします。同時に参考資料として869事業の「事務事業詳細シート」を公開します。

平成19年に本格的に募集開始、審査をへて平成20年より本格実施します。審査・選定は提案審査会で審査する予定です。評価の指標は、1, 将来性 2, 地域性 3, 競争性 4, 採算性 5, 安定性 6, 効率性・効果性などです。

課題

逆になにが公務員でなければならないのか見極める必要があります。例えば公権力の行使や個人情報に深くかかわる分野については、さすがに民間委託できません。また民間にも企業やNPO、任意団体などいろいろありますが、棲み分けをしないとイケません。ある程度の技術やノウハウが必要だったり、ただ単に金額の安さだけで決められない業務もあります。

また区は行政管理担当課を設置し、管理主導主任を設置するなど監督・検証体制を準備していますが、区の職員には悲しいかな民間企業の経験はなく、ましてや経営にたずさわることはほとんどありません。ちゃんと経営指導ができないと失敗例もでてくるでしょう。この制度に興味がありチャレンジしたい方は、是非ともご相談下さい。

平成17年度、各会計決算を認定しました。

平成17年度は「いきいき元気に生涯現役」「地域ぐるみで教育立区」「安全／安心24時間365日」の3本柱を重点に予算編成されました。決算では一般会計の歳出総額で1322億3504万円となり、収支は形式、実質とも黒字となりました。景気の回復傾向から区税収入が増加するなど外的要因もありましたが、経営努力により財政状況は健全に保たれていることは大変評価できます。

今年には北海道夕張市が事実上、破たんするなど、これまでの自治体は倒産しないという安全神話は崩れ、自治体間で良い意味での競争となりました。そんな中でも杉並の改革は全国のお手本になっていることは誇らしいことです。

しかしながら17年9月4日に集中豪雨による水害にみまわれ、10億5千万ほどの緊急支出をするなど、何があるかわからないことから、さらに堅実な運営と迅速な対応を望みます。

17年度の行革効果 = 約17億円

職員削減 目標90人 達成91人

(平成12年～22年の10年間で1000人削減目標
現在5年間で548人とハイペースです)

区民一人あたりの資産 = 113万6941円

資産－負債 = 94万7828円 (正味財産)

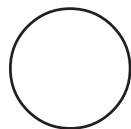
| 区民一人あたりの還元額(円) | 主な施策の内容 |
|----------------|-----------------------------------|
| 保健福祉費 | 116,013 社会福祉、児童福祉、生活保護、保健衛生など |
| 教育費 | 33,675 小・中学校、社会教育、社会体育など |
| 総務費 | 31,981 政策経営、会計管理、選挙、監査など |
| 都市整備費 | 19,374 都市計画、土木管理、土木建設、公園など |
| 公債費 | 17,688 公債の償還 |
| 環境清掃費 | 17,045 環境対策、リサイクル、清掃など |
| 生活経済費 | 12,909 区民生活、税務、統計、戸籍住民基本台帳、産業経済など |
| 議会費 | 1,563 議会 |
| 合計 | 250,248 |

基金残高 (貯金)

< 11年 >

162億

区民一人あたり
3万1687円



3.9倍
254億増

< 17年 >

416億

区民一人あたり
7万8830円

18年度見込み
460億

区民一人あたり
8万7009円

区債残高 (借金)

< 11年 >

872億

区民一人あたり
17万3512円



44%ダウン
293億減

< 17年 >

579億

区民一人あたり
10万9563円

18年度見込み
533億

区民一人あたり
10万649円

**山田区政7年間での区財政を
わかりやすく表現してみました**

全国の自治体の各評価

自治体間の格差はますます広がるも、杉並は相変わらず全国トップランクを維持しています。「杉並を全国ナンバーワンの自治体にしよう」という山田区長の公約は有言実行となって示されています。

自治体改革ランキング（関西社会経済研究所）
前年1位から惜しくも僅差の2位

| | 市区名 | 点数 |
|----------|----------------|------|
| 1 | 八王子市（東京） | 92.1 |
| 2 | 杉並区（東京） | 91.8 |
| 3 | 練馬区（東京） | 89.7 |
| 4 | 多治見市（岐阜） | 88.8 |
| 5 | 足立区（東京） | 87.5 |

行政革新度ランキング（日本経済新聞）
前年6位から3位にランクアップ

| | 自治体名 | 得点 |
|----------|----------------|------|
| 1 | 三鷹市（東京） | 99.4 |
| 2 | 板橋区（東京） | 93.3 |
| 3 | 杉並区（東京） | 88.1 |
| 4 | 逗子市（神奈川） | 85.6 |
| 5 | 豊田市（愛知） | 85 |

議会のようす

先生と呼ばないで！

佐々木浩と名刺交換した方はお気づきだと思いますが、「先生と呼ばないで」と11年前から記述しています。議員を「先生」と呼称するのはどうかと思ったからです。あれから時はだいぶたち、議会の雰囲気も少し変わり、この度、めでたく議会全体として、このキャンペーンをする事になりました。区役所にも「先生と呼ばないで！」と申し入れをしました。皆さんも是非、ご協力ください。

支度料を廃止

議員や行政マンが公費で視察や交流などで海外に行く場合があります。海外視察に関しては私も厳しくチェックしておりますので、旅費そのものは以前と比べて相当抑えられており、世間基準なみになってきたと思います。しかしながら旅行準備のための数万単位の「支度料」なるものがあり、異議を唱えて参りました。6月議会において、この支度料を廃止致しました。これで私もようやく別にレポートするように、オーストラリアの姉妹都市の友好使節団に参加することにしました。

費用弁償について監査委員など行政委員も改善

区議会議員の費用弁償（会議に出席すると給与とは別に1日6千円支給）は2月議会ですっきり廃止しましたが、同じように役所の監査委員、教育委員、選挙管理委員、農業委員にも費用弁償が支給されていました。

議会がいち早く費用弁償の廃止に取り組んだのを受けて行政サイドも改める事になりました。ただし行政委員の場合は法律で完全廃止というわけにはいかず、かかった交通費などの実費支給という形になりました。



北朝鮮の地下核実験に対し、非難決議を採択！！

杉並区議会は、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が10月9日に行った地下核実験の実施に対し、抗議し、決議を採択しました。

翌10月10日、決算特別委員会が開かれておりましたが、事態を重く見て急きょ臨時の本会議を開催し、非難決議を提案者のひとりとして提出いたしました。驚くことに一部の会派からの反対があり全会一致とはなりませんでした。圧倒的多数をもって採択され、同日付で郵送にて送付しました。また区も区長名にて同様の内容の抗議文を同日送付しました。



<内容(抜粋)>

世界各国からの中止要請にもかかわらず、新たな核実験を行ったことは、極めて遺憾であり、強い憤りを禁じえない。国際社会における核拡散防止と核軍縮努力に逆行するもので、多くの人々の平和への願いを踏みにじるものである。杉並区議会は、貴国の核実験に抗議し、今後一切の核開発を即時停止することを、強く求めるものである。

杉並区ウイロビー市親善訪問団 参加レポート

期間：9月7日～9月11日（4泊5日）

ウイロビー市は商業も栄えておりますが、シドニーから30分ほど北に位置する住宅都市で、6億円の豪邸が並ぶ地区もあります。1990年に杉並と友好都市提携を結び、以来、こどもたちのスポーツ交流など民間もふくめて毎年行ったり来たりの交流をしています。

現地では、ウイロビーのパット・レイリー市長はじめ市議会議員の皆さんやウイロビーの姉妹都市ビンガラ市の市長、副市長など数多くの方々から私どもを歓迎していただきました。杉並からは高円寺の阿波踊りや日本舞踊の方々も同行し現地の民族舞踏（アボリジニ）など伝統文化の交流も価値がありました。

現地をまわり気づきましたが、町中に公共サイン以外の広告物がほとんどありません。それなりの規制がされているとの事で、景観条例を目指す当区の参考になります。また市議会議員との話の中で、向こうの議員は専門ではなく、別に職業をもって、夜間に議会を開いているとのことで大変興味をひきました。

行程はなかなかタイトで、予算も切りつめました。また動物園の入場料など税金から支出はどうかというものは自腹に致しました。片道9時間半のエコノミークラスでの機内泊はほとんど眠れず、正直いうとだいぶ疲れましたが、大変有意義な訪問でした。



佐々木浩プロフィール

昭和39年12月 41歳

新潟県栃尾市生まれ

慶應義塾大学文学部 人間関係学科人間科学専攻 卒業
社長秘書などサラリーマンや都議会議員秘書などを経験し
平成7年、当時最年少で杉並区議会議員に初当選
平成11年、平成15年と連続当選をはし現在3期目
議員生活12年目をむかえる

所属政党は日本新党、新進党をへて無所属に

杉並区監査委員など議会の要職をつとめ

現在、区議会会派『自由無所属杉並区議団』幹事長



区政の出前やっています。
お気軽にお声を！

このレポートは佐々木浩の政務調査費より作成しております。ご意見やご質問などありましたら是非およせください。